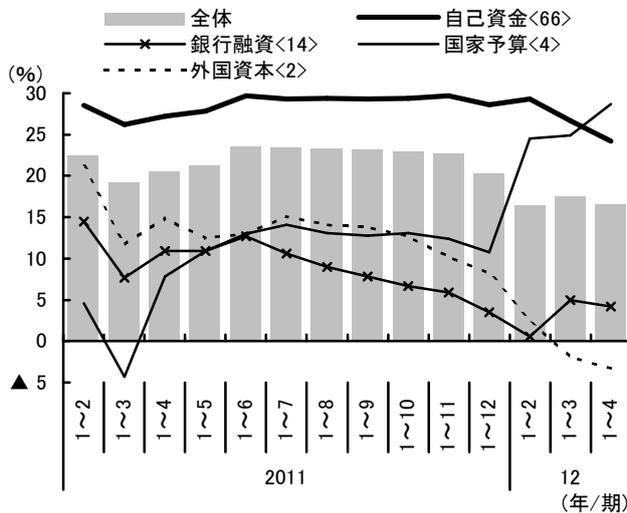


中国の民間設備投資の増勢鈍化に歯止め

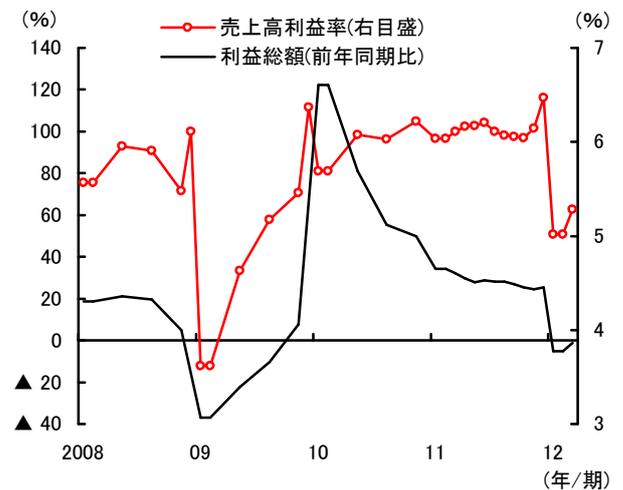
- (1) 中国では2012年入り後、民間設備投資の増勢が鈍化。固定資産投資の3分の2を占める自己資金による投資の伸び率が低下(図表1)。これは、内部留保を原資とした民間企業の設備投資が中心。
- (2) 投資減速の主因は企業収益の悪化。2012年入り後の製造業の利益総額は前年割れに(図表2)。売上高が内外需要の減速を受けて伸び率が低下する一方、人件費は人手不足を背景に高い伸びを維持したため(図表3)、利益率が低下したことが背景。
- (3) 今後も人件費増に伴う収益下振れ圧力は残るため、当面は設備投資に厳しい環境が続く見込み。もっとも、政府の重点育成分野の支援本格化や米国向け輸出の拡大を受けて、売上げが持ち直しに転じると予想されるため、設備投資の伸び率低下には早晩歯止めがかかると期待。実際、設備投資に先行性を有するわが国の工作機械の受注の動きをみると、中国からの発注がここに来て増加傾向に(図表4)。

(図表1)資金原資別の固定資産投資
(除く農村家計、前年同期比)



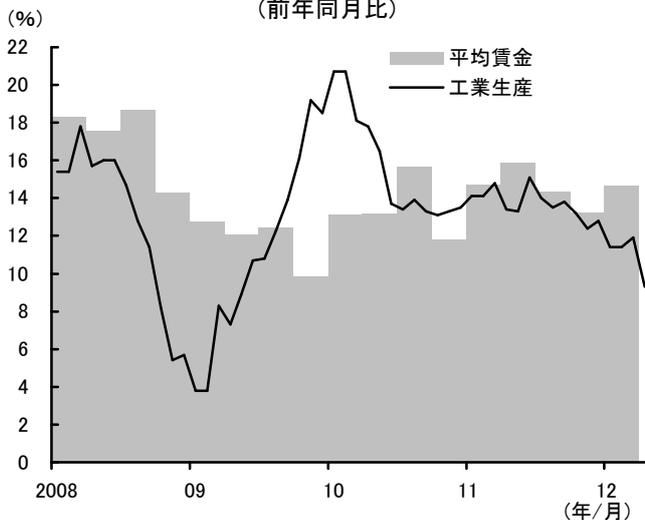
(資料)国家統計局
(注)〈〉内は2011年のシェア。

(図表2)工業企業の企業収益の推移
(年初来累計)



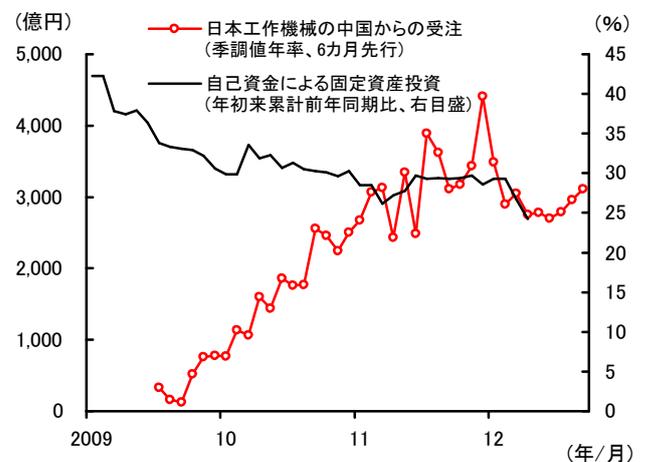
(資料)国家統計局
(注)2011年に統計改定が行われたため、2010年までのデータとは連続していない。

(図表3)工業生産と平均賃金の推移
(前年同月比)



(資料)国家統計局をもとに作成

(図表4)工作機械の受注と固定資産投資の推移



(資料)日本工作機械工業会、中国国家統計局をもとに作成
(注)2011年に固定資産投資の統計改定が行われたため、2010年までのデータとは接続していない。